【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成20年8月21日(2008.8.21)

【公開番号】特開2006-75166(P2006-75166A)
【公開日】平成18年3月23日(2006.3.23)
【年通号数】公開・登録公報2006-012
【出願番号】特願2005-260878(P2005-260878)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ　1/21　(2006.01)
Ｃ１２Ｐ　13/04　(2006.01)
Ｃ１２Ｒ　1/19　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ　1/21
Ｃ１２Ｐ　13/04
Ｃ１２Ｎ　1/21
Ｃ１２Ｒ　1:19

【手続補正書】
【提出日】平成20年7月4日(2008.7.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
全てのアセトヒドロキシ酸合成酵素（ＡＨＡＳ）が不活化されている、腸内細菌科の異常アミノ酸生産細菌。
【請求項２】
前記異常アミノ酸は、ノルロイシン及び／又はノルバリンである、請求項１に記載の細菌。
【請求項３】
前記細菌は、エシェリヒア属に属する、請求項１に記載の細菌。
【請求項４】
前記アセトヒドロキシ酸合成酵素は、ｉｌｖＢＮ遺伝子によりコードされるＡＨＡＳ　Ｉ、ｉｌｖＧＭ遺伝子によりコードされるＡＨＡＳ　ＩＩ及びｉｌｖＩＨ遺伝子によりコードされるＡＨＡＳ　ＩＩＩを含む、請求項３に記載の細菌。
【請求項５】
前記細菌は、ｌｅｕＡＢＣＤオペロンの発現が増強するように改変されている、請求項４に記載の細菌。
【請求項６】
異常アミノ酸を生産する方法であって、
請求項１～５のいずれかに記載の細菌を、Ｌ－ロイシンは含有しないが、細菌増殖を制限する濃度のＬ－バリンを含有する培地で培養して、前記異常アミノ酸を生産させ、該培地中に分泌させ、かつ
前記異常アミノ酸を、該培地から回収すること、
を含む、異常アミノ酸を生産する方法。
【請求項７】
前記異常アミノ酸は、ノルロイシン及び／又はノルバリンである、請求項６に記載の方法

。